

宇治田原町教育委員会定例会議事概要

令和7年第9回

日 時 令和7年9月26日(金) 14時開会

場 所 宇治田原町役場 1階 会議室101・102

出席者

(教育長) 南 亮司

(教育委員)

教育長職務代理者 大嶋 良孝

委員 杉野 三千代

委員 川崎 文男

委員 播磨 幸博

(出席職員職氏名)

教育次長兼学校教育課長 矢野 里志

社会教育課長 田村 徹

学校教育課課長補佐 酒井 隆司

(書記職員職氏名)

学校教育課教育総務係長 星野 聖美

(傍聴者)

なし

1 開会 教育長が第9回宇治田原町教育委員会定例会の開会を宣言する。

2 教育長あいさつ

3 議事録承認

令和7年第8回宇治田原町教育委員会定例会議事録の承認

4 議事

(1) 付議案件

日程第1 (議案第8号) 宇治田原町私立幼稚園の副食費に係る補足給付補助金交付要綱の一部を改正する要綱を制定するについて

(説明) 当該要綱は令和元年10月1日の幼児教育無償化時に副食費を保護者負担とされたことに伴い、低所得世帯・多子世帯を対象として負担軽減のために制定をしたもの。国が定める「特定教育・保育、特別利用保育、特別利用教育、特定地域型保育、特別利用地域型保育、特定利用地域型保育及び特定保育に要する費用の額の算定に関する基準等」及び「子ども・子育て支援交付金交付要綱」の副食費の単価が改正をされたことに伴い、本町の給付額を同額まで引き上げる。改正前の金額が日額225円、補助限度額4,500円、改正後の金額が日額245円、補助限度額4,900円となる。

(質疑)

<委員> 対象児は何人くらいいるのか。予算はどれくらい増えるか。

<事務局> 対象児は10未満。今までも限度額の4,500円を超えることは無かったため、おそらく増額はないものとする。

(承認) 全員挙手により承認。

(2) 報告事項

ア 学校教育課所管事項について

・うじたわら学び塾の夏季報告について

(説明)

○参加者

教室名	受講生	スタッフ
7/24 英語検定を目指して	19	3
7/28 勉強何でも応援室	11	3
7/31 おもしろ漢字教室	10	3
8/3 自由研究応援します	2	7
8/4 漢字検定に挑戦	14	4
8/7 漢字検定に挑戦	16	3
8/8 勉強何でも応援室	12	4
8/9 わくわく英語 AM	5	8
8/9 わくわく英語 PM	6	9
8/10 わくわく英語	4	8
8/18 自由研究応援します	3	10
8/20 漢字検定に挑戦	16	1
合計	118	63

漢字検定は受検者36名中28名合格で合格率77.8%。今後冬休みにも事業を開催する。

(質疑)

〈委員〉 学び塾の対象は小学生だけか

〈事務局〉 事業によって、未就学児や中学生も対象としている。

〈委員〉 次回からで良いが、参加者の中で中学生とそれ以外の割合もわかれば参考になると思う。

〈事務局〉 参加人数の枠を小・中・それ以外等に分けて報告するようにしたい。

・宇治田原町教育委員会事務点検及び評価報告書(素案)について

(説明) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に規定された事務事業点検・評価報告書について、町の教育の重点に添う形でまとめた。この素案を10月2日の評価委員会に提示し、取りまとめのうえ、議会で報告することとなる。

(質疑)

〈委員〉 今後の流れだが、10月2日に評価委員会を行い、その後教育委員会で議決、町議会報告、公表という形になるのか。実施要綱では教育委員会に諮るものとされているので、議会報告前に議決が必要かと思う。また、自己評価のところ、成果についてかいてあるところが殆ど。昨年の評価委員の意見をふまえ、その結果どうしたかという点を記載する必要があると感じる。また評価をうけた今後の見通しも必要。

〈事務局〉 確かに評価委員が評価した部分がどう次の施策に活かされているかという視点も大事だと思うので、もう少し自己評価の中に取り入れたい。

〈委員〉 そもそも具体的な目標を定めていないと、評価するのは難しいのではないか。

〈委員〉 A L Tが1名になったか、何か変化があったか。今年度は高校生等応援事業費ということで2万円支給されているが、高校入学時にはタブレット購入など負担が多いので、もう少し補助額が上げられないか。またスポーツフェスティバルに対する自己評価が記載されていないが、どのような評価になるか。

〈事務局〉 A L Tについては特に学校の方からも要望はないが中学校では英語がかなり重要になってくるので、1名体制でいいのかという点については今後も引き続き検討していきたい。高校生等応援事業費については国の交付金を元に単発で支給しているもの。財源がない中単費で継続ということは難しい。スポーツフェスティバルについては、町民体育大会より参加人数は減っているが、工業団地へのPRもしており、そういった点について評価に含めていきたい。

〈委員〉 この時期に評価していたのでは、翌年度予算に反映できない。決算の数字がこの時期にならないと出ないのであれば数字は必要性がないと思うので予算額程度でもいいのではないか。

〈委員〉 数字については、初年度の素案の時に委員発案で記載してもらったもの。評価委員が評価する際、言葉だけではなく具体的な数字があった方が評価しやすいと考える。要綱には「効果的教育行政の推進に資するとともに、住民に対する行政の透明性の確保と説明責任を果たすことを目的とする」とあり、次年度予算に反映させることも大事だが、広く住民に説明をする目的もある。

〈事務局〉 議会の報告は終わっていないが、昨年も11月に報告書はとりまとめており、次年度予算の参考にはできる。維中の空調なども、5年度の評価をもとに6年度中に補正を組んで空調の設計にかかるなど、反映できる部分には反映させている。

5 その他

・なし

6 閉会 教育長が第9回教育委員会定例会の閉会を宣言する。